

令和4年度 事務事業評価表 (令和3年度の実績評価)

記入年月日  
令和4年4月20日

事務事業名		妊婦・乳幼児健康教室事業				事業区分		担当		
政策体系		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助	継続 単独	事務事業No.	010203000338	
総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進						所属課	040401 健康推進課	
政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり						課長名		
施策名		02 健康づくりの推進						グループ	健康づくり	
手段名		03 ③母子支援体制の充実						担当者名		
財務会計上の位置付け					事業期間					
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 母子衛生事業			単年度繰返し (昭和41年度～)
	01	04	01	01	03	00	母子衛生事業			期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入
法令根拠		母子保健法								

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>①マタニティクラス：対象は出産を控えた夫婦とその家族。周知方法は個人通知・母子健康手帳交付時に「マタニティクラス」のちらし、健康カレンダー、広報、ホームページ等で参加のPRをしている。教室は年6回マタニティクラスAとマタニティクラスBに分け分娩予定日ごとに開催。H30年度よりマタニティクラスAを1回のみ土曜日開催した。内容はマタニティクラスAは赤ちゃんのお風呂の入れ方、妊娠シュミレーション(夫に体験してもらおう)、妊娠中の栄養についてである。マタニティクラスBは助産師の話、マタニティヨガを実施していた。令和2年度より、感染対策として個別及び小人数制で実施している。</p>	<p>マタニティクラス：事業内容の企画検討。対象者の抽出及び個別案内。当日の実施。実績報告書の作成。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
			マタニティクラス ・対象者への個別案内 ・当日の運営 (妊娠、出産に関する健康教育)	マタニティクラスの開催数	回	9.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
マタニティクラス：妊婦とその家族	出産する夫婦 (年次)	組	145.00	128.00	145.00	145.00	145.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
妊娠・出産・育児等の知識を学ぶとともに、不安の軽減ができる。	参加者数 (延)	人	9.00	37.00	37.00	37.00	37.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
		国庫支出金 千円	0	0	0		
	県支出金 千円	0	0	0			
	地方債 千円	0	0	0			
	使用料・手数料 千円	0	0	0			
	その他 千円	0	0	0			
	一般財源 千円	7	18	26			
	事業費計(A) 千円	7	18	26			
	正規職員従事人数 人	3.00人	3.00人	3.00人			
03年度事業費実績 (千円)		18			04年度事業費 予算 (千円)		
事業費の内訳	10 需用費			07 報償費	20		
				10 需用費	6		
			合計			合計	26

事務事業名	妊婦・乳幼児健康教室事業	事務事業No.	10203000338	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<p>パパ・ママクラス（現：マタニティクラス）については、S41年に母子保健法が施行され、それに基づき、保健センター設置当時より妊婦を対象に開始。H11年男女協働参画基本法が施行され、夫婦で子育てができる環境整備を図るようになった。乳幼児健康教室については、H22年度より子育て支援センターと協力して実施。現在子育て支援センターの事業に移行している。令和2年度新型コロナウイルスの影響で全日程ともに中止し、個別への対応に切替。令和3年度は、個別又は少人数制で指導を実施。</p>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で医療機関でのマタニティクラスが中止になっているため、個別や少人数制で実施し「出産前に体験することができてイメージがついた」「夫と共に参加できてよかった」との反応を得ることができた。</p>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 教室に参加することで、安心して妊娠・出産・育児ができるようになることは、子育て支援に結びついている。妊娠期から接点を持つことで、切れ目のないかわりができる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である コロナ渦でマタニティクラスを行わない医療機関も多く、出産に対する不安を抱えたまま出産に臨むのはあまりにも酷なことであるといえる。その為市として出来る支援は行っていくべきであるといえる。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 集団での実施を中止していることから親同士の交流を期待している妊婦は希望しない可能性がある。しかし、今後希望者が増えた場合などは、業務量・人員的に対応が困難になる可能性がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 集団での実施は出来ておらず、親同士の交流を期待する妊婦の期待には応えられないという点では現状同じである。しかし個別での分娩・沐浴指導すらも廃止した場合には、妊婦の出産育児への知識習得の場はなくなり、不安軽減は図れないといえる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない マタニティクラスについては、対象者が限定され、類似事業がないため、統廃合は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない スタッフが個別で業務時間内に対応している。1人当たり2時間程度は要してしまうが、時間的削減は内容の軽薄化につながると思われる。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 母子手帳発行時や妊婦後期面談の際に全員に説明を実施。ホームページ、健康カレンダーにも掲載している。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で集団での開催を中止し、希望者に個別対応した。内容は、沐浴体験が多かった。令和3年度は、個別及び少人数制で行い沐浴体験や妊婦体験が好評であった。土日開催も検討したが、施設の休館と重なり実施が不可となった。																												
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上		○																										
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																											
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>